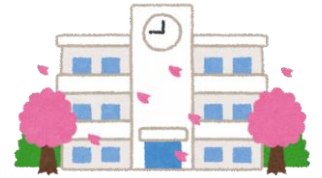


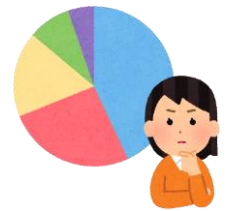
令和4年度がスタートしてはや2か月。中間試験も終え、部活動では県総体をはじめとする大会が続く時期ですね。1年生の皆さんは、邇摩高生活に慣れましたか？ 2年生の皆さん、新しいクラスや本格的に始まった系列授業はいかがですか？ 3年生の皆さんは、はやくも最上級生としての自覚が行動に表れ始めているように見え、たのもしく感じています。



さて、この『なりすな』は、人権に関する学習のふり返りや情報提供などをおこなうために不定期に発行するものです。“琴ヶ浜にひろがる鳴き砂”を意味する便りの名称には、「生徒の皆さんが互いに関わり合い認め合いながら、個性豊かな音色を奏でることができるように」との願いを込めています。皆さんが豊かな人間関係を築いていけるよう、今年度も、お互いの人権を守って過ごしましょう！

★【人権に関する意識調査】実施しました！

4月に人権に関する意識調査を実施し、すべての生徒の皆さんに回答してもらいました。集計結果は学校の人権教育のために活用します。ここでは、3つの質問を取り上げ、その回答割合を紹介します。



[A] あなた自身の「基本的人権」は尊重されている（大切にされている）と思いますか？

	そう思う	ややそう思う	あまり思わない	全く思わない	わからない
1～3年生	73.2%	19.6%	1.6%	1.2%	4.4%

[B] あなた自身の身のまわりで「差別」があると思いますか？

	あると思う	ないと思う	わからない
1～3年生	19.8%	53.6%	26.6%

[C] あなたは、社会にあるさまざまな人権問題についてどのように考えますか？

	すべての人に関わる大切な問題	関係する一部の人の問題	自分とは関わりがない問題	わからない
1～3年生	93.6%	2.0%	1.2%	3.6%

(「令和4年度邇摩高校人権に関する意識調査」集計結果より)

(裏面に続く)

今年度は、[B]「身のまわりに差別がある」と解答した人の割合が昨年度と比べてわずかに増加しました。差別は増えたのでしょうか？ これは、2、3年生を中心に「差別を見抜く力」がそなわってきた表れではないかと考えています。ではその「差別」を、どうすればなくすることができるでしょうか。[C]で社会における人権問題が「すべての人に関わる大切な問題」とであると多くの人が考えていることと同様に、学校における人権問題も、「すべての人に関わる問題」です。邇摩高校に、「人権が尊重されていない」、「差別がある」と感じている人がいる。このことを、他人事にするのではなく、邇摩高校の一員として「自分ごと」と考え、自分にできることは何かを考え続けてほしいです。危険なのは、「自分は差別をしないから、人権問題や差別問題は関係ない」と思うことです。身の回りにあるかもしれない「差別や偏見」を見抜き、それをなくすために正しく行動をしていきましょう。

★「人権感覚」をみがき続けよう！

- ・「人権感覚」・・・偏見*等にとらわれず、様々なものの見方ができる力・感性

*偏見とは、「かたよった考え・見かた」のこと。決めつけや思い込みのことを言うこともあります。

《練習問題》

- ①「人権」と聴いて思い浮かんだもの・ことについて、周囲の人と意見交換してみよう！
- ②「雨」と聴いて思い浮かんだもの・ことについて、周囲の人と意見交換してみよう！
- ③ 右の写真にある水道、「なんだか気になる」という人はいませんか？



私たちは、ひとつのモノやコトを見聞きしているようで、一人一人異なる「^{かいしゃく}解釈」を持っています。一人一人、「受け止め方が違う」、ということです。例えば「雨」と聴いて^{ゆう}憂うつになる人もいれば、喜ぶ人もいます（…どんな立場の人でしょうか?）。「様々な立場の人やさまざまな背景を持った人がいる」ことを想像しながら、他者を尊重し、自分自身のあり方をつねに振り返ることが大切です。学校生活を通して、自分自身の人権感覚をアップデートしていきたいですね！

★「人権に関するホームルーム活動」について

人権について学習するLHRを、学期に1回実施します。1学期の予定は次の通りです。授業の感想は、『なりすな』でも紹介しますね。ともに学んでいきましょう！

1年生	5月31日（火）6限	テーマ：仲間づくりとコミュニケーション
2年生	6月14日（火）6限	テーマ：部落差別の現実から学ぶ①
3年生	7月 上旬	テーマ：就職差別について知り考える

（*この便りは持ち帰り、家庭等で「人権」について語り合うきっかけにしてください。人権教育スタッフ：森脇）